

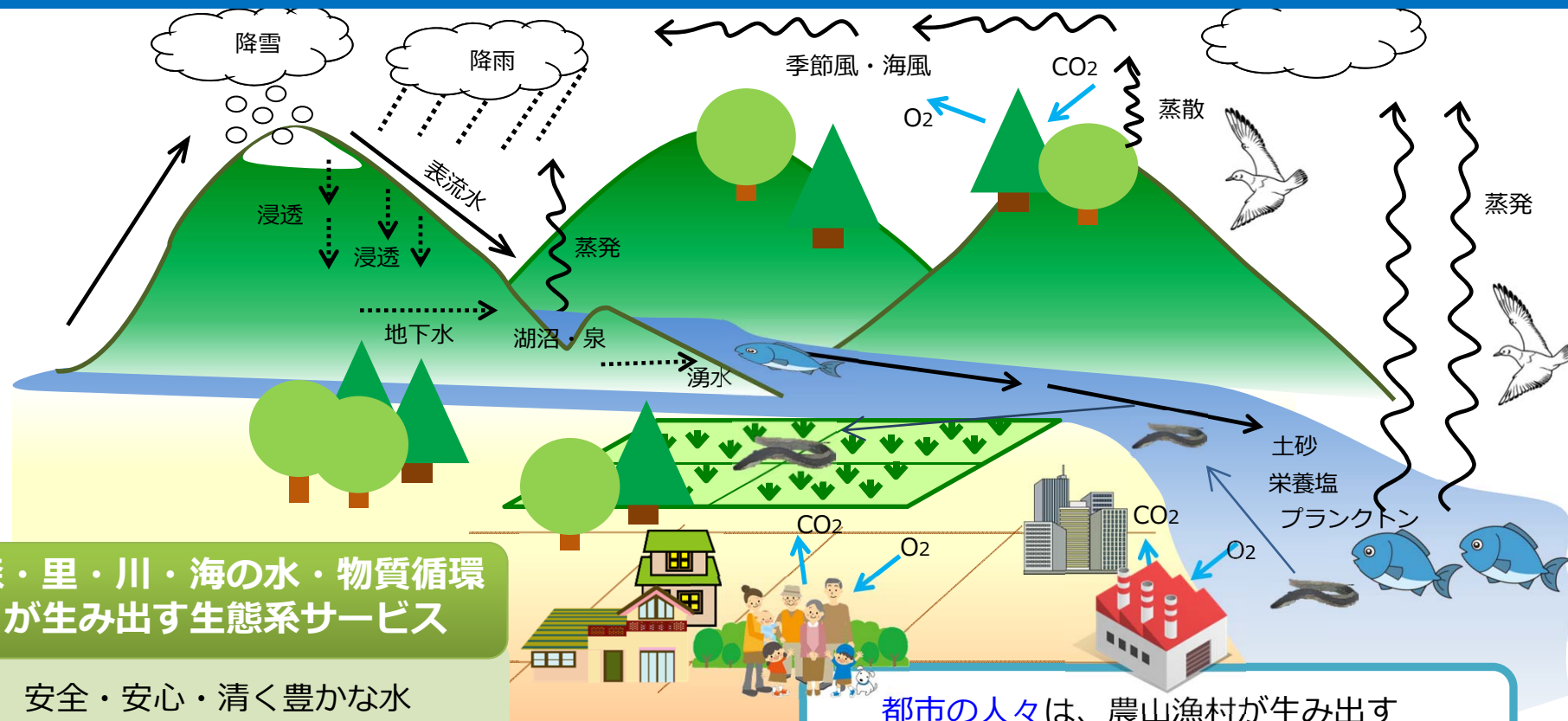


つなげよう、支えよう森里川海プロジェクト 今後の展開について

資料2



森里川海の循環が生み出す恵み



森・里・川・海の水・物質循環 が生み出す生態系サービス

安全・安心・清く豊かな水
清浄な空気・土壌の保全
安全で美味しい食糧
バイオマス
地域特産品
地域の自然に根ざした文化
災害防止
レクリエーション

都市の人々は、農山漁村が生み出す
これらの恵みを受けてくらしている。



森里川海の連環確保の必要性－顕在化する暮らしへの影響－

森・里・川・海といった自然環境が提供する生態系サービスの恩恵は、全ての国民が享受。

人口減少

気候変動

高齢化

過剰開発

過疎化

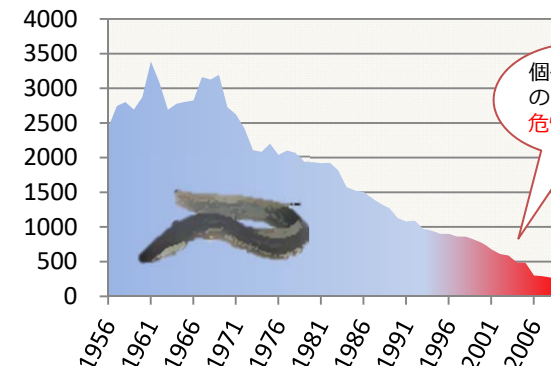
つながりの喪失

近年、様々な要因により、我が国の自然環境は荒廃し、国民の暮らしにも影響。

資源の枯渇

森・里・川・海のつながりが失われ、乱獲や海洋環境の変動なども相まって、ウナギなどの身近な資源が枯渇。

漁獲量 (t) ◎二ホンウナギの漁獲量推移



資料：水産庁 内水面漁業・養殖業魚種別生産量年統計より

ふれあいの機会の減少

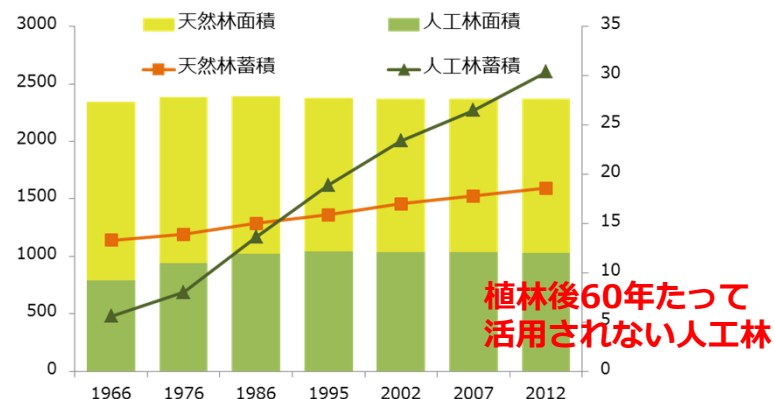
里地里山の荒廃により、子供達が自然にふれあう機会が減少し、生物多様性を保全する国民意識も低下。



森林・里地里山の荒廃

鳥獣被害の深刻化

人の管理が不足することにより、人工林の荒廃や耕作放棄地が増加。野生鳥獣の個体数が増加し、食害による森林荒廃、農林業被害が深刻化。



植林後60年たって
活用されない人工林

災害の激甚化

森林の二酸化炭素吸収量の減少等も相まって、地球温暖化が進行



静岡県HPより

気候変動に加え、森里川海が荒廃することにより土砂防止・保水機能が低下



2013年台風25号の被害
(伊豆大島)

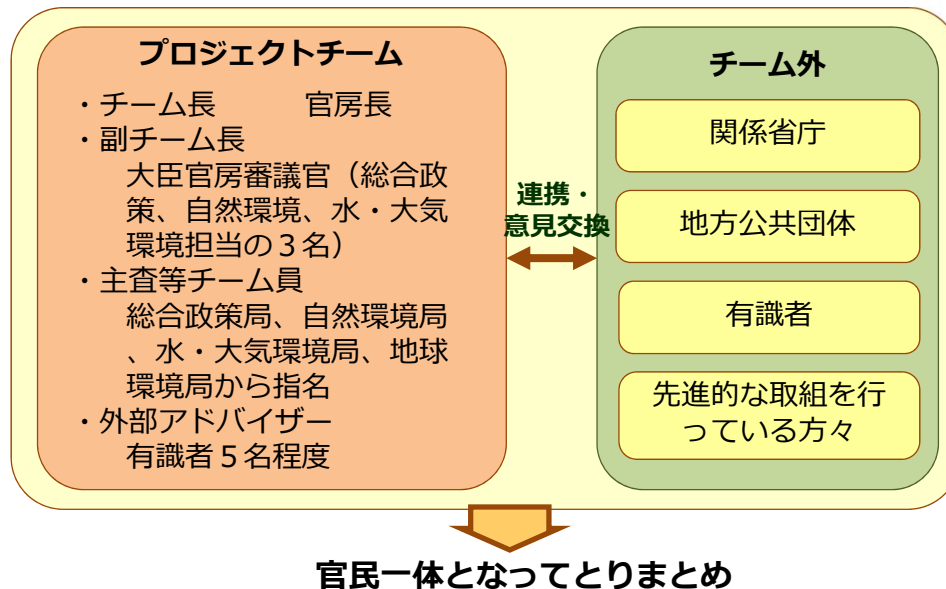
「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト

私たちの暮らしを支える「森里川海」。それが今、過度の開発や利用、管理の不足などにより、つながりが分断されたり、質が低下しています。人口減少、高齢化が進行する中で、どのように森里川海を管理し、それを通じて地方を創生していくか、官民一体となって考えていく必要があります。

環境省では、「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトとして、地方公共団体、有識者、先進的な取組を行っている方々との対話や議論を行いながら、森里川海の恵みを将来にわたって享受し、安全で豊かな国づくりを行うための基本的な考え方と対策の方向をとりまとめ、全国で取組を進めていきます。

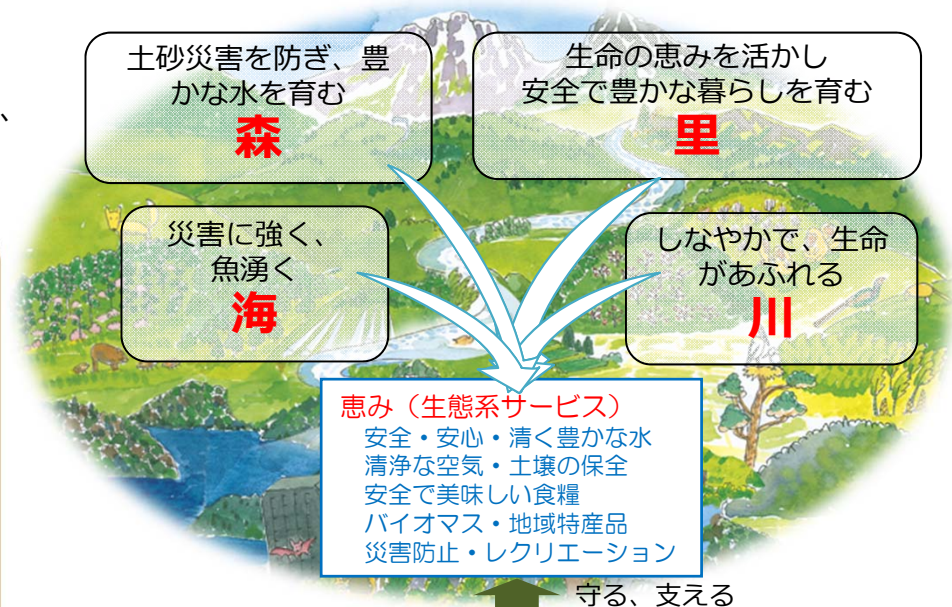
■ プロジェクトチームの立ち上げ

官房長をチーム長として、総合環境政策局、自然環境局、水・大気環境局及び地球環境局の職員、外部アドバイザー（有識者）で構成するプロジェクトチームを設置。また、広く地方公共団体、有識者、先進的な取組を行っている方々等と意見交換を行いながら基本的な考え方と対策の方向のとりまとめを行う。



※ プロジェクト名称「つなげよう、支えよう森里川海」について
自然資源を象徴する「森」「里」「川」「海」を保全してつなげること、また、それぞれに関わる人をつなげること、そして、都市部に住む人たちも含めて国民全体で「森里川海」の保全とそれに関わる人たちを支えることを示している。

私たちの暮らしを支える森里川海



自然の恵みを引き出す仕組みの構築やライフスタイルの転換

■ これまでの流れ

26年12月	「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトチーム立ち上げ、第1回勉強会
27年1～6月	勉強会、意見交換会、公開シンポジウム等
6月	中間とりまとめ
10月～28年2月	全国リレーフォーラム、総括シンポジウム
28年5月	中間とりまとめの見直し、提言案の公表

プロジェクトの目標

- 森里川海を豊かに保ち、その恵みを引き出します。

森里川海が本来持つ力を再生し、恵み（清浄な空気、豊かな水、食料・資材等の恵みを供給する力や自然災害へのしなやかな対応力）を引き出すことのできる社会をつくります。

- 一人一人が、森里川海の恵みを支える社会をつくります。

私たちの暮らしは森里川海の恵みに支えられているだけでなく、日々の暮らし方（消費行動や休暇の過ごし方など）を変えることによって、私たちが森里川海を支えることができます。一人一人がそれを意識して暮らす社会への変革を図ります。

具体的な取組アイデア – 個別プログラム例（１） –

森林のメタボ解消・健全化プログラム

日本の森林の蓄積量は過去最大。これを活用し、森林のCO₂吸収機能を高めつつ、森林資源を将来につなぐための事業を実施。

＜具体的な活動例＞

- ・ CO₂吸収源対策に資する間伐、植林等
- ・ 生物多様性を豊かにする森林施業のガイドライン作成・普及
- ・ 生産材や製品の認証取得促進
- ・ 木材の消費行動の適正化推進
- ・ 木材市場の活性化（木造建築の推進など） 等



生態系を活用したしなやかな災害対策

国土利用のあり方を人口減少社会にふさわしいものに見直す。森林、河川、農地の間の切れ目のない災害対策が重要。

＜具体的な活動例＞

- ・ 地域ごとの土地利用計画の見直し
- ・ 自然の防潮堤ともいえるサンゴ礁に負担をかけない土地利用 等



江戸前などの地域産食材再生のための環境づくり

ウナギやアサリをはじめとする魚介類などを持続的に利用するために、山から川、海のつながりを見直し、環境の改善を図る。

＜具体的な活動例＞

- ・ 河川内の生き物の移動を阻害する段差の解消
- ・ 藻場・干潟の再生
- ・ 海域の環境改善のための植林、湿地の再生等
- ・ 「里海」づくり活動の推進



トキやコウノトリなどが舞う国土づくり

トキやコウノトリ、ツル類、猛禽類などの大型鳥類が生息できることを指標にして、国土、地域の環境づくりを促進。

＜具体的な活動例＞

- ・ 多くの生き物が生息できる水田環境づくり
- ・ 生き物にやさしい農業の推進
- ・ 田んぼと水路の生き物の移動を阻害する段差の解消
- ・ 「一村一生物運動」の推進等



具体的な取組アイデア – 個別プログラム例（２） –

美しい日本の風景再生プログラム

「美しさ」、「心地よさ」も自然の恵みの一つ。圧倒的な雄大さや機能的な美しさは、人の心を育てるだけでなく、観光資源としても重要。

＜具体的な活動例＞

- ・ 北斎などの風景再生
- ・ 雄大な草原の再生
- ・ 視点場の再生・整備 等



森里川海からの産業創造プログラム

自然資本財を活用した新たな産業の創造や、各種産業にとっての魅力的な環境を整備。

＜具体的な活動例＞

- ・ 企業と地域などをマッチングさせる仕組み
- ・ 産業創出のための研究開発の推進

鳥獣等から国土・国民生活を守るプログラム

農林業、生活環境、生態系をおびやかすニホンジカやイノシシなどの鳥獣の必要な捕獲等の対策ができる社会づくりを行う。

＜具体的な活動例＞

- ・ 捕獲をプロとして行う専門的捕獲事業者の育成
- ・ 鳥獣の人間のたんぱく源としての再評価、シビエの振興 等



森里川海の中で遊ぶ子どもの復活プログラム

子どもたちが、森里川海の中で遊んで自然を身近に感じ、その恵みを知る機会を増やすことにより、森里川海を将来世代につないでいく。

＜具体的な活動例＞

- ・ 川ガキ・山ガキ・海ガキ養成学校開校
- ・ 子どもの農山漁村体験促進
- ・ 身近な川や田んぼの調査 等



森里川海とつながるライフスタイルへの転換

一人一人の消費行動や余暇の時間の過ごし方を考え、転換することで、日々森里川海の恵みを意識し、暮らしを通じて森里川海の管理に貢献する。

＜具体的な活動例＞

- ・ 地域産食材や環境配慮食材の購入促進
- ・ 木材の消費行動の適正化の推進
- ・ エコツーリズム推進
- ・ 森里川海の管理に貢献する2地域居住の推進 等



具体的な取組アイデア – 実現に向けた仕組み –

国民・地域からのボトムアップの取組で社会の在り方を変革する新たな仕組みを導入
⇒自然の劣化を引き起こす社会から、自然を豊かに再生し恵みを引き出す社会に転換



自然の恵みを享受している国民一人
ひとりが少額ずつ負担
(自然へのおさい銭・次世代への貯金)

森・里



川・海



つながり確保



森里川海協議会で議論



用途は、森里川海協議会で議論し、
負担する国民の意見を幅広く反映す
るとともに、透明性を確保

自然へのおさい銭
次世代への貯金

自然の恵み
を引き出す
取組

国、自治体、企業、
住民・NPOによる
幅広い取組を通じて、
自然の恵みを引き出す

全国リレーフォーラムの実施

キックオフイベント
10月30日 @汐留

全国47箇所リレーフォーラム

ミニフォーラム + シンポジウム
全国39箇所 + 全国8箇所

プロジェクトの主旨に賛同する各地の団体主催のイベントとも連携

総括シンポジウム
2月20日 @富山



プロジェクトの普及

国民一人一人が、森里川海の恵みを実感し、
その恵みを社会全体で支えていくという想いを広
げていく。

ボトムアップによる推進

地域で既に進められている取組の現状や課題を
洗い出し、個別プログラムや仕組みづくりなどに
活かす。

延べ4千人の方に参加いただきました

「私たちにできるアクション」

森里川海のつながり 保全・再生

人工林の集約 里山との関わり 山を元気に！ 原点は森から
みんな水で生かされている 森は海の恋人 山から海までの水のつながり 川を元に戻す!!
身近なところ出来る事から 酒匂川の自然・森・体験 水のつながり りをしななやろう
源流～川までの一貫した環境教育 豊かな自然をみんなで作る 山林の保全→川海の保全 親水でつなぐ森里川海
再生

取組の連携

つなげる じゅんかん
連携 行政と市民の連携
行動から繋がりへ
友産友消チーム

つなぐ人

皆で力を合わせる
仲人 国民総活躍のボランティア
多くの人が参加できる仕組み
市民みんな 人材育成 リーダー
が10本間伐 人を残す・呼ぶ

活用＝稼ぐ“しくみ”

財源
地産地消 食える農林水産業 人が生活できる
食べて応援 里山資本主義 緑の資源
地域活動の継続 森里川海を活かし、働く 様々な循環・環

子供たちの ために！

子どもの笑顔
子供と命 未来の子供達
原風景を子供達に伝える

自然は楽しい！

しあわせ体験
みんな共遊 生きものと共に遊ぶ
・楽しみ・そして愛
楽しさご利益で行動 遊びスターもり
垣根を越えて汗を流そう かわさとみ☆

郷土愛

吉備の国
＝美人を増やそう！
〇〇人の心と懐

知る－意識

伝える－体験する

気付き 自然から感謝される人になろう!!
大人子どもの環境 自然と親しむ 意識する自然
教育・意識の向上 自然を取り戻す活動を考える！
まずは「感心」を高める事から！ 現状を知る
気づき・知ることから 価値を知る
自然体験 再認識 現場を知ってもらふ
何もない田舎なんてないっ!!

自然環境の恵み

農産者の営みは日本の
消費を支えている

東京五輪を契機としたライフスタイルの転換

ライフスタイルの変革

非日常から日常に 自然に守られている私!!
無邪気なライフスタイル オシャレ！
みんなの意識の転換

プロジェクトの今後のアクション

森里川海を豊かに保ち、その恵みを引き出す取組

- ・ **流域**における森里川海の保全・再生
- ・ 取組同士の**連携**の仕組み
- ・ 取組を支える**人材育成**
- ・ 経済・社会システムとリンクした**資金づくり**



地域で
まわる
仕組み
づくり

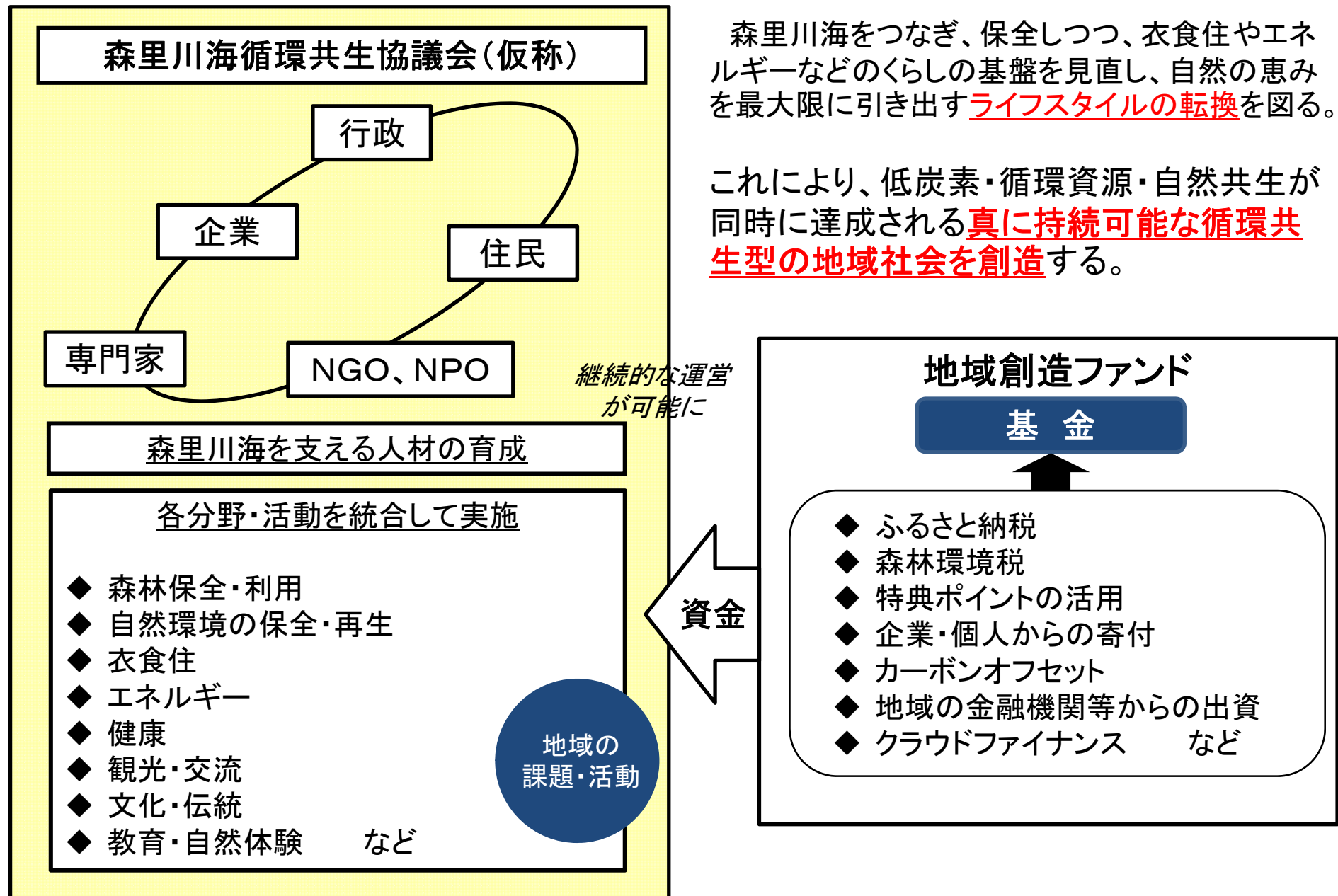
一人一人が、森里川海の恵みを支える社会づくり

- ・ 森里川海の恵みへの意識・支える気持ちの**醸成**
- ・ **子ども達**の笑顔あふれる**自然体験の場づくり**
- ・ オシャレで豊かな**ライフスタイル**の提案



国全体で
支える
社会づくり

森里川海循環共生協議会と地域創造ファンドの創設



平成28年度森里川海プロジェクトの概要

「つなげよう、支えよう森里川海」
中間とりまとめ(H27.6)



提言とりまとめ(H28.8)

- ・全国リレーフォーラムの実施(H27.10～28.2) 参加者からのコメント
- ・パブリックコメント(H28.5～6)

平成28年 実施事業

1. 全国プロジェクト＝国民的運動

①ライフスタイル転換キャンペーン

「クールチョイス」、「NO! フードロス」、「食」や「健康」とも一体となったキャンペーンを全国的に展開

②「森里川海大好き読本(仮称)」の作成
編集委員会を設置し、教員・小中学生を対象とした読本の作成を検討。全国の学校、図書館等へ配布

③普及啓発

- ア. ふるさと絵本づくり
- イ. シンポジウム、イベントの実施

④情報発信

- ア. ホームページの更新
- イ. ツイッターでの発信

⑤グッドライフアワードとの連携

2. 地域プロジェクト＝実証地域の支援

①対象地域の公募

環境省が応援する実証地域を公募。
10か所を選定し、以下②、③を実施。

②実証地域の支援

- ア. 多様な主体によるプラットフォームづくり
- イ. 自立のための経済的仕組みづくり
- ウ. 人材育成

③効果の測定、課題の抽出

対象地域にもたらした社会的、経済的效果や生態系サービスを測定、併せて課題も抽出

3. 実証事業の評価手法検討

各地域での取組が経済や社会、そして生態系サービスにどのように寄与したかを「見える化」

実証地域の選定

	実証地域	活動団体
1	宮城県本吉郡南三陸町	一般社団法人 CEPAジャパン
2	神奈川県小田原市	小田原市
3	石川県珠洲市	珠洲市
4	滋賀県東近江市	特定非営利活動法人 まちづくりネット東近江
5	大阪府吹田市・豊能郡能勢町	特定非営利活動法人 大阪自然史センター
6	岡山県高梁川流域	一般社団法人 高梁川流域学校
7	山口県	榎野川河口域・干潟自然再生協議会
8	徳島県吉野川流域	コウノトリ定着推進連絡協議会
9	福岡県宗像市	宗像国際環境会議実行委員会
10	佐賀県鹿島市	鹿島市ラムサール推進協議会